

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2019年11月12日
【四半期会計期間】	第16期第2四半期（自 2019年7月1日 至 2019年9月30日）
【会社名】	野村不動産ホールディングス株式会社
【英訳名】	Nomura Real Estate Holdings, Inc.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 沓掛 英二
【本店の所在の場所】	東京都新宿区西新宿一丁目26番2号
【電話番号】	(03)3348-8878
【事務連絡者氏名】	財務部長 中宇根 信
【最寄りの連絡場所】	東京都新宿区西新宿一丁目26番2号
【電話番号】	(03)3348-9463
【事務連絡者氏名】	財務部長 中宇根 信
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次		第15期 第2四半期 連結累計期間	第16期 第2四半期 連結累計期間	第15期
会計期間		自2018年4月1日 至2018年9月30日	自2019年4月1日 至2019年9月30日	自2018年4月1日 至2019年3月31日
売上高	(百万円)	231,358	247,015	668,510
経常利益	(百万円)	21,546	17,844	69,323
親会社株主に帰属する四半期 (当期)純利益	(百万円)	13,002	12,468	45,873
四半期包括利益又は包括利益	(百万円)	13,728	17,477	47,795
純資産額	(百万円)	518,811	547,709	541,562
総資産額	(百万円)	1,710,201	1,731,031	1,759,455
1株当たり四半期(当期) 純利益	(円)	69.26	67.86	245.99
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益	(円)	68.84	67.51	244.55
自己資本比率	(%)	29.5	30.8	29.9
営業活動による キャッシュ・フロー	(百万円)	43,591	54,814	89,964
投資活動による キャッシュ・フロー	(百万円)	16,163	3,163	46,699
財務活動による キャッシュ・フロー	(百万円)	53,417	5,930	13,723
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高	(百万円)	55,006	54,344	118,330

回次		第15期 第2四半期 連結会計期間	第16期 第2四半期 連結会計期間
会計期間		自2018年7月1日 至2018年9月30日	自2019年7月1日 至2019年9月30日
1株当たり四半期純利益	(円)	29.24	51.81

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 役員報酬BIP信託及び株式付与ESOP信託が所有する当社株式を、1株当たり四半期(当期)純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、2019年4月1日付でNFパワーサービス(株)は、株式の一部を譲渡したことにより、連結子会社から外れております。

なお、第1四半期連結会計期間より、「賃貸部門」としていた報告セグメントの名称を「都市開発部門」に変更しております。また、「運営管理部門」に区分しておりました野村不動産ライフ&スポーツ(株)を「都市開発部門」の区分に、野村不動産ウェルネス(株)及び野村不動産(株)のシニア事業を「住宅部門」の区分に、「都市開発部門」に区分しておりました野村不動産(株)の賃貸住宅事業を「住宅部門」の区分に変更しております。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 経営成績の状況

当第2四半期連結累計期間における当社グループの経営成績は、売上高は247,015百万円（前年同期比15,656百万円、6.8%増）、営業利益は21,684百万円（同 4,333百万円、16.7%減）、事業利益は22,181百万円（同 4,041百万円、15.4%減）、経常利益は17,844百万円（同 3,701百万円、17.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は12,468百万円（同 533百万円、4.1%減）となりました。

（注）事業利益 = 営業利益 + 持分法投資損益 + 企業買収に伴い発生する無形固定資産の償却費

部門ごとの業績の概要は、以下のとおりであります。

各部門の売上高は、部門間の内部売上高、振替高を含みます。また、端数処理の関係で合計数値があわない場合があります。

第1四半期連結会計期間より、「賃貸部門」としていた報告セグメントの名称を「都市開発部門」に変更しております。また、「運営管理部門」に区分しておりました野村不動産ライフ&スポーツ(株)を「都市開発部門」の区分に、野村不動産ウェルネス(株)及び野村不動産(株)のシニア事業を「住宅部門」の区分に、「都市開発部門」に区分しておりました野村不動産(株)の賃貸住宅事業を「住宅部門」の区分に変更しております。

これに伴い、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度の数値については、変更後の部門の区分に基づいて作成しております。

なお、2019年4月1日付でN F パワーサービス(株)は、株式の一部を譲渡したことにより、連結子会社から外れております。

<住宅部門>

当部門の売上高は64,457百万円（前年同期比 41,095百万円、38.9%減）、事業損失は5,271百万円（前年同四半期連結累計期間は事業利益2,547百万円）と、前第2四半期連結累計期間と比べ減収減益となりました。

これは主に、住宅分譲事業において、計上戸数が減少したことによるものであります。なお、前連結会計年度に比べて当連結会計年度は、第4四半期連結会計期間に完成・売上計上される物件が多い見込みであります。

住宅分譲事業において、当連結会計年度の計上予定戸数5,100戸に対して、997戸（前年同期比396戸減）を計上いたしました。なお、当連結会計年度の計上予定売上高に対する当第2四半期連結会計期間末における契約進捗率は81.8%となりました。

また、当第2四半期連結会計期間末における契約済未計上残高は4,275戸（前年同期比116戸増）となっております。

なお、共同事業における戸数、売上高、契約残高については事業シェア按分で計算しております。

売上高等内訳

		前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)		前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	
		計上戸数	売上高 (百万円)	計上戸数	売上高 (百万円)	計上戸数	売上高 (百万円)
住宅 分譲	首都圏	1,090戸	71,576	760戸	43,415	4,295戸	264,695
	関西圏	166戸	7,644	206戸	10,434	830戸	40,719
	その他	136戸	6,559	30戸	1,163	764戸	36,641
	小計 (うち戸建住宅)	1,393戸 (165戸)	85,779 (9,929)	997戸 (172戸)	55,012 (11,443)	5,890戸 (647戸)	342,055 (44,378)
賃貸住宅・シニア		-	9,474	-	3,488	-	12,615
その他		-	10,299	-	5,956	-	20,701
合計		-	105,552	-	64,457	-	375,373

住宅分譲 期末完成在庫数(販売中)

	前第2四半期連結会計期間末 (2018年9月30日)	当第2四半期連結会計期間末 (2019年9月30日)	前連結会計年度末 (2019年3月31日)
首都圏	87戸	94戸	147戸
関西圏	41戸	8戸	62戸
その他	3戸	0戸	19戸
合計 (うち戸建住宅)	132戸 (18戸)	103戸 (28戸)	229戸 (35戸)

住宅分譲 期末完成在庫数(未販売)

	前第2四半期連結会計期間末 (2018年9月30日)	当第2四半期連結会計期間末 (2019年9月30日)	前連結会計年度末 (2019年3月31日)
合計 (うち戸建住宅)	75戸 (9戸)	32戸 (6戸)	47戸 (9戸)

住宅分譲 契約済未計上残高

	前第2四半期連結会計期間末 (2018年9月30日)		当第2四半期連結会計期間末 (2019年9月30日)		前連結会計年度末 (2019年3月31日)	
	戸数	契約残高 (百万円)	戸数	契約残高 (百万円)	戸数	契約残高 (百万円)
首都圏	2,984戸	180,341	3,103戸	217,883	2,204戸	156,292
関西圏	599戸	32,211	582戸	31,717	410戸	21,694
その他	575戸	29,449	589戸	33,451	381戸	22,222
合計 (うち戸建住宅)	4,159戸 (169戸)	242,002 (11,185)	4,275戸 (89戸)	283,053 (6,319)	2,996戸 (21戸)	200,209 (1,608)

<都市開発部門>

当部門の売上高は121,042百万円（前年同期比52,122百万円、75.6%増）、事業利益は18,846百万円（同1,930百万円、11.4%増）と、前第2四半期連結累計期間と比べ増収増益となりました。

これは主に、物件売却収入が増加したことによるものであります。

売上高内訳

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
賃貸（オフィス）	28,155	24,442	53,975
賃貸（商業施設）	6,877	6,359	13,817
賃貸（その他）	3,845	4,132	7,974
収益不動産（売却）	13,963	62,729	65,350
収益不動産（賃貸）	1,799	3,712	4,533
フィットネス	8,173	8,526	16,647
その他	6,103	11,138	9,312
合計	68,919	121,042	171,612

賃貸床面積

	前第2四半期連結会計期間末 (2018年9月30日)	当第2四半期連結会計期間末 (2019年9月30日)	前連結会計年度末 (2019年3月31日)
オフィス	828,531m ²	793,802m ²	784,122m ²
商業施設	174,622m ²	172,153m ²	169,497m ²
合計	1,003,152m ²	965,955m ²	953,620m ²

空室率（オフィス・商業施設）

前第2四半期連結会計期間末 (2018年9月30日)	当第2四半期連結会計期間末 (2019年9月30日)	前連結会計年度末 (2019年3月31日)
3.9%	4.3%	4.7%

<資産運用部門>

当部門の売上高は5,953百万円（前年同期比1,452百万円、32.3%増）、事業利益は3,460百万円（同687百万円、24.8%増）と、前第2四半期連結累計期間と比べ増収増益となりました。

これは主に、国内運用会社において運用資産残高が増加したこと、及び前連結会計年度において英国不動産運用会社Lothbury社を連結子会社としたことによるものであります。

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
売上高	4,501	5,953	9,641

運用資産残高

(単位：百万円)

		前第2四半期連結会計期間末 (2018年9月30日)	当第2四半期連結会計期間末 (2019年9月30日)	前連結会計年度末 (2019年3月31日)
国内運用会社	R E I T	1,229,804	1,295,255	1,290,999
	私募ファンド等	75,119	115,965	75,474
海外運用会社		-	291,589	303,002
合計		1,304,924	1,702,811	1,669,476

< 仲介・CRE部門 >

当部門の売上高は18,269百万円（前年同期比1,299百万円、7.7%増）、事業利益は3,239百万円（同356百万円、12.4%増）と、前第2四半期連結累計期間と比べ増収増益となりました。

これは主に、売買仲介における取扱件数及び取扱高が増加したことによるものであります。

売上高内訳

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
売買仲介	15,249	17,036	33,136
その他	1,719	1,232	4,162
合計	16,969	18,269	37,298

売買仲介取扱件数・取扱高

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
取扱件数（件）	4,375	4,817	8,922
取扱高（百万円）	356,396	412,921	767,324

< 運営管理部門 >

当部門の売上高は45,751百万円（前年同期比2,580百万円、6.0%増）、事業利益は4,134百万円（同1,021百万円、32.8%増）と、前第2四半期連結累計期間と比べ増収増益となりました。

これは主に、受注工事が増加したことによるものであります。

売上高内訳

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
運営管理	25,629	26,433	51,524
受注工事	13,982	16,512	32,371
その他	3,559	2,805	7,478
合計	43,171	45,751	91,374

管理受託数

	前第2四半期連結会計期間末 (2018年9月30日)	当第2四半期連結会計期間末 (2019年9月30日)	前連結会計年度末 (2019年3月31日)
ビル等管理件数(件)	728	727	732
住宅管理戸数(戸)	173,845	177,303	177,582

<その他部門>

当部門の売上高は45百万円(前年同期比 1百万円、2.7%減)、事業損失は59百万円(前年同四半期連結累計期間は事業損失15百万円)となりました。

(2) 財政状態の状況

総資産は1,731,031百万円となり、前連結会計年度末に比べ28,423百万円減少いたしました。これは主に、たな卸資産（27,422百万円増）並びに投資有価証券（6,398百万円増）が増加した一方で、有価証券（37,000百万円減）並びに現金及び預金（26,979百万円減）が減少したことによるものであります。

総負債は1,183,321百万円となり、前連結会計年度末に比べ34,571百万円減少いたしました。これは主に、借入金（5,500百万円増）が増加した一方で、支払手形及び買掛金（26,141百万円減）並びにに預り金（15,447百万円減）が減少したことによるものであります。

純資産は547,709百万円となり、前連結会計年度末に比べ6,147百万円増加いたしました。これは主に、自己株式（4,418百万円減）の取得を行った一方で、利益剰余金（5,483百万円増）並びにその他有価証券評価差額金（4,771百万円増）が増加したことによるものであります。

なお、自己資本比率については、30.8%（前連結会計年度末比0.8ポイント増）となりました。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は54,344百万円となり、前連結会計年度末と比べ、63,985百万円の減少となりました。

「営業活動によるキャッシュ・フロー」は、54,814百万円（前年同期比11,222百万円減）の資金の減少となりました。これは主に、たな卸資産の増加並びに仕入債務の減少があったことによるものであります。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は、3,163百万円（同12,999百万円増）の資金の減少となりました。これは主に、有形及び無形固定資産の取得による支出があったことによるものであります。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」は、5,930百万円（同59,347百万円減）の資金の減少となりました。これは主に、借入金による資金調達を行った一方で、配当金の支払い及び自己株式の取得を行ったことによるものであります。

(4) 経営方針・経営戦略等

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが定めている経営方針・経営戦略等について重要な変更はありません。

(5) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(6) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間における研究開発費の総額は、10百万円であります。

なお、当第2四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

(7) 主要な設備

当第2四半期連結累計期間において、前連結会計年度末に計画中であった以下の設備が竣工いたしました。

会社名	名称 (所在地)	部門	用途	構造規模又は設備の内容等	面積 (㎡)	竣工時期	取得価額 (百万円)
N R E G 東芝不動産㈱	GICROS GINZA GEMS (東京都中央区)	都市開発	商業施設	鉄骨造、地下3階、地上11階	建物 2,781 土地 276	2019年7月	4,940

当第2四半期連結累計期間において、ZEN PLAZA CO.,LTDの持分を取得したことに伴い、以下の設備が主要な設備となっております。

会社名	名称 (所在地)	部門	用途	構造規模又は設備の内容等	面積 (㎡)	帳簿価額 (百万円)
ZEN PLAZA CO.,LTD	ZEN PLAZA (ベトナム・ホーチミン)	都市開発	オフィス	鉄骨・れんが造陸屋根、地下2階、地上14階	建物 16,074 土地 1,472	3,060

(注) 土地面積には借地を含めて表示しております。

当第2四半期連結累計期間において、以下の設備を売却いたしました。

会社名	名称 (所在地)	部門	主な用途	構造規模又は設備の内容等	面積(m ²)	帳簿価額 (百万円)
野村不動産㈱	和幸ビル (東京都港区)	都市開発	オフィス	鉄骨鉄筋コンクリート造、地下1階、地上8階	建物 3,171 土地 621	7,426

3【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	450,000,000
計	450,000,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在発行数(株) (2019年9月30日)	提出日現在発行数(株) (2019年11月12日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	192,564,801	192,608,201	東京証券取引所 (市場第一部)	単元株式数 100株
計	192,564,801	192,608,201	-	-

(注)1. 発行済株式のうち、113,000,000株は、現物出資(野村不動産株発行済全株式40,000,000株 452億円)によるものであります。

2. 「提出日現在発行数」欄には、2019年11月1日からこの四半期報告書提出日までの新株予約権の行使により発行された株式数は含まれておりません。

(2)【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総数増減数(株)	発行済株式総数残高(株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金増減額 (百万円)	資本準備金残高 (百万円)
2019年7月1日～ 2019年9月30日 (注)1	144,200	192,564,801	136	117,473	136	117,837

(注)1. 新株予約権の行使による増加であります。

2. 2019年10月1日から2019年10月31日までの間に、新株予約権の行使により、発行済株式総数が43,400株、資本金及び資本準備金がそれぞれ45百万円増加しております。

(5) 【大株主の状況】

2019年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (百株)	発行済株式(自己株式を除く。)の 総数に対する所有 株式数の 割合(%)
野村ホールディングス株式会社	東京都中央区日本橋一丁目9番1号	647,775	35.06
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	東京都中央区晴海一丁目8番11号	102,341	5.53
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	東京都港区浜松町二丁目11番3号	78,448	4.24
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口9)	東京都中央区晴海一丁目8番11号	39,281	2.12
BNYMSANV AS AGENT/CLIENTS LUX UCITS NON TREATY 1 (常任代理人 株式会社三菱UFJ銀行)	VERTIGO BUILDING - POLARIS 2-4 RUE EUGENE RUPPERT L-2453 LUXEMBOURG GRAND DUCHY OF LUXEMBOURG (東京都千代田区丸の内二丁目7番1号 決済 事業部)	32,915	1.78
野村不動産ホールディングス従業員持株会	東京都新宿区西新宿一丁目26番2号	29,836	1.61
HSBC BANK PLC A/C CLIENTS 1 (常任代理人 香港上海銀行東京支店カスタ ディ業務部)	8 CANADA SQUARE, LONDON E14 5HQ (東京都中央区日本橋三丁目11番1号)	25,916	1.40
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口5)	東京都中央区晴海一丁目8番11号	24,761	1.34
STATE STREET BANK WEST CLIENT - TREATY 505234 (常任代理人 株式会社みずほ銀行決済営業 部)	1776 HERITAGE DRIVE, NORTH QUINCY, MA 02171, U.S.A. (東京都港区港南二丁目15番1号 品川イン ターシティA棟)	19,968	1.08
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口7)	東京都中央区晴海一丁目8番11号	19,059	1.03
計	-	1,020,302	55.22

(注) 1. 当社は、自己株式を7,804,064株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。

2. 上記の発行済株式より除く自己株式には、役員報酬BIP信託及び株式付与ESOP信託が保有する当社株式は含まれておりません。

3. 2018年2月20日付で公衆の縦覧に供されている変更報告書において、野村証券株式会社及びその共同保有者から、2018年2月14日現在でそれぞれ以下の株式を所有している旨が記載されているものの、当社として当第2四半期会計期間末現在における実質所有株式数の一部の確認ができませんので、上記大株主の状況には含めておりません。なお、その変更報告書の内容は次のとおりであります。

氏名又は名称	住所	保有株券等の数 (百株)	株券等保有割合 (%)
野村ホールディングス株式会社	東京都中央区日本橋一丁目9番1号	647,775	33.73
野村アセットマネジメント株式会社	東京都中央区日本橋一丁目12番1号	35,266	1.84
朝日火災海上保険株式会社	東京都千代田区神田美土代町7番地	3,000	0.16
計	-	686,041	35.72

4. 2018年9月6日付で公衆の縦覧に供されている変更報告書において、イーストスプリング・インベストメンツ（シンガポール）リミテッド及びその共同保有者が、2018年8月31日現在でそれぞれ以下の株式を所有している旨が記載されているものの、当社として当第2四半期会計期間末現在における実質所有株式数の確認ができませんので、上記大株主の状況には含めておりません。なお、その変更報告書の内容は次のとおりであります。

氏名又は名称	住所	保有株券等の数 (百株)	株券等保有割合 (%)
イーストスプリング・インベストメンツ（シンガポール）リミテッド (Eastspring Investments (Singapore) Limited)	シンガポール共和国マリーナ・ブルーバード10、#32-10、マリーナ・ベイ・フィナンシャルセンター・タワー2	93,642	4.87
M & G インベストメント・マネジメント・リミテッド (M&G Investment Management Limited)	英国、ロンドン、ローレンス・パウントニー・ヒル、EC4R 0HH	6,194	0.32
計	-	99,836	5.19

(6)【議決権の状況】

【発行済株式】

2019年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 7,804,000	-	単元株式数100株
完全議決権株式(その他)	普通株式 184,725,400	1,847,254	同上
単元未満株式	普通株式 35,401	-	1単元(100株)未満の株式
発行済株式総数	192,564,801	-	-
総株主の議決権	-	1,847,254	-

(注) 1. 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式64株が含まれております。

2. 「完全議決権株式(その他)」欄の株式数には、役員報酬BIP信託及び株式付与ESOP信託が保有する当社株式1,968,200株(議決権19,682個)が含まれております。なお、当該議決権19,682個は、議決権不行使となっております。

【自己株式等】

2019年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
野村不動産ホールディングス株式会社	東京都新宿区西新宿一丁目26番2号	7,804,000	-	7,804,000	4.05
計	-	7,804,000	-	7,804,000	4.05

(注) 役員報酬BIP信託及び株式付与ESOP信託が保有する当社株式は、上記自己株式には含まれておりません。

2【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（2019年7月1日から2019年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（2019年4月1日から2019年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、EY新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	81,351	54,371
受取手形及び売掛金	26,601	23,004
有価証券	37,000	-
販売用不動産	3 161,224	133,836
仕掛販売用不動産	290,398	311,186
開発用不動産	3 184,650	218,877
営業エクイティ投資	18,066	21,679
その他	50,274	59,248
貸倒引当金	39	37
流動資産合計	849,528	822,168
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3 223,385	219,670
土地	3 544,226	537,670
その他(純額)	3 19,421	19,736
有形固定資産合計	787,033	777,077
無形固定資産		
投資その他の資産	18,104	20,615
投資有価証券	50,522	56,920
敷金及び保証金	25,448	26,810
繰延税金資産	20,863	19,793
その他	7,956	7,645
貸倒引当金	0	0
投資その他の資産合計	104,789	111,170
固定資産合計	909,926	908,863
資産合計	1,759,455	1,731,031

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	53,927	27,785
短期借入金	79,500	106,000
1年内償還予定の社債	-	10,000
未払法人税等	13,318	7,982
預り金	26,915	11,467
賞与引当金	8,176	8,219
役員賞与引当金	495	229
事業整理損失引当金	26	23
その他	49,513	54,159
流動負債合計	231,873	225,867
固定負債		
社債	140,000	130,000
長期借入金	694,500	673,500
受入敷金保証金	59,249	61,111
繰延税金負債	61,563	61,586
再評価に係る繰延税金負債	3,900	3,900
株式給付引当金	719	1,109
転貸事業損失引当金	15	7
退職給付に係る負債	18,175	17,959
その他	7,895	8,280
固定負債合計	986,019	957,454
負債合計	1,217,893	1,183,321
純資産の部		
株主資本		
資本金	117,293	117,473
資本剰余金	110,537	110,717
利益剰余金	307,570	313,053
自己株式	18,787	23,206
株主資本合計	516,613	518,038
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,718	11,490
繰延ヘッジ損益	259	70
土地再評価差額金	7,860	7,860
為替換算調整勘定	677	1,067
退職給付に係る調整累計額	3,507	3,394
その他の包括利益累計額合計	10,134	14,818
新株予約権	2,346	2,146
非支配株主持分	12,467	12,706
純資産合計	541,562	547,709
負債純資産合計	1,759,455	1,731,031

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業収益	231,358	247,015
営業原価	157,008	175,324
営業総利益	74,350	71,690
販売費及び一般管理費	1 48,332	1 50,006
営業利益	26,018	21,684
営業外収益		
受取利息	23	23
受取配当金	43	39
持分法による投資利益	71	193
解約精算金	-	398
投資有価証券売却益	-	102
固定資産受贈益	54	-
その他	89	172
営業外収益合計	282	929
営業外費用		
支払利息	4,384	4,320
その他	370	449
営業外費用合計	4,754	4,769
経常利益	21,546	17,844
特別利益		
固定資産売却益	-	393
特別利益合計	-	393
特別損失		
建替関連損失	821	-
固定資産移管損失	1,091	-
特別損失合計	1,912	-
税金等調整前四半期純利益	19,633	18,238
法人税、住民税及び事業税	6,014	6,995
法人税等調整額	321	1,598
法人税等合計	6,335	5,396
四半期純利益	13,298	12,842
非支配株主に帰属する四半期純利益	296	373
親会社株主に帰属する四半期純利益	13,002	12,468

【四半期連結包括利益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	13,298	12,842
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,159	4,771
繰延ヘッジ損益	718	188
土地再評価差額金	0	0
為替換算調整勘定	19	356
退職給付に係る調整額	153	112
持分法適用会社に対する持分相当額	144	80
その他の包括利益合計	429	4,635
四半期包括利益	13,728	17,477
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	13,432	17,152
非支配株主に係る四半期包括利益	295	325

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	19,633	18,238
減価償却費	9,381	9,776
持分法による投資損益(は益)	71	193
貸倒引当金の増減額(は減少)	1	2
事業整理損失引当金の増減額(は減少)	4	3
転貸事業損失引当金の増減額(は減少)	25	8
退職給付に係る負債の増減額(は減少)	262	216
受取利息及び受取配当金	66	62
支払利息	4,384	4,320
売上債権の増減額(は増加)	2,605	3,602
たな卸資産の増減額(は増加)	29,324	27,422
営業エクイティ投資の増減額(は増加)	1,564	3,613
仕入債務の増減額(は減少)	13,323	26,134
預り金の増減額(は減少)	8,593	15,447
その他	6,836	2,433
小計	24,070	39,599
利息及び配当金の受取額	222	301
利息の支払額	3,622	3,799
法人税等の支払額	16,121	11,716
営業活動によるキャッシュ・フロー	43,591	54,814
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	4,337	399
投資有価証券の売却及び清算による収入	59	834
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	-	3,494
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	-	85
有形及び無形固定資産の取得による支出	10,941	8,429
有形及び無形固定資産の売却による収入	0	7,819
敷金及び保証金の差入による支出	230	985
敷金及び保証金の回収による収入	504	765
受入敷金保証金の返還による支出	2,373	1,371
受入敷金保証金の受入による収入	1,037	2,043
その他	118	138
投資活動によるキャッシュ・フロー	16,163	3,163
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	35,500	14,000
ファイナンス・リース債務の返済による支出	86	118
長期借入れによる収入	61,000	4,000
長期借入金の返済による支出	32,900	12,500
株式の発行による収入	106	146
自己株式の売却による収入	-	22
自己株式の取得による支出	3,571	4,445
配当金の支払額	6,586	6,985
非支配株主への配当金の支払額	44	49
財務活動によるキャッシュ・フロー	53,417	5,930
現金及び現金同等物に係る換算差額	2	76
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	6,340	63,985
現金及び現金同等物の期首残高	61,347	118,330
現金及び現金同等物の四半期末残高	1 55,006	1 54,344

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

(1) 連結の範囲又は持分法適用の範囲の重要な変更

NOMURA REAL ESTATE VIETNAM CO., LTDについては、第1四半期連結会計期間において新たに設立したため、ZEN PLAZA CO., LTDについては、第1四半期連結会計期間において新たに持分を取得したため、NOMURA REAL ESTATE (THAILAND) CO., LTDについては、当第2四半期連結会計期間において新たに設立したため、それぞれ連結の範囲に含めております。NREAM Investors America, LLCについては、当第2四半期連結会計期間において清算が終了したため、連結の範囲から除外しております。

また、NFパワーサービス㈱については、第1四半期連結会計期間において株式を売却したため、連結の範囲から除外し持分法適用関連会社に含めております。

(四半期連結貸借対照表関係)

1 保証債務

次の顧客等について、金融機関等からの借入に対し債務保証を行っております。

	前連結会計年度 (2019年3月31日)		当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
住宅ローン利用顧客	113,368百万円	住宅ローン利用顧客	23,411百万円
EBSビル共同事業者	393	EBSビル共同事業者	356
計	113,761	計	23,768

2 追加出資義務等

下記の関係会社に対して、同社の金融機関からの借入に関連し、共同事業者と出資比率に応じた追加出資義務等を負っております。なお、関係会社の借入残高は次のとおりであり、()は当社の同社への出資比率に基づく金額であります。

	前連結会計年度 (2019年3月31日)		当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
ORIGIN RAMKHAMHAENG COMPANY LIMITED	209百万円 (102)	ORIGIN RAMKHAMHAENG COMPANY LIMITED	946百万円 (463)
ORIGIN PRIME 2 COMPANY LIMITED	191 (94)	ORIGIN PRIME 2 COMPANY LIMITED	935 (458)
ORIGIN PARK T1 COMPANY LIMITED	6,980 (3,420)	ORIGIN PARK T1 COMPANY LIMITED	7,060 (3,459)
ORIGIN SPHERE COMPANY LIMITED	1,039 (509)	ORIGIN SPHERE COMPANY LIMITED	1,577 (773)
ORIGIN VERTICAL COMPANY LIMITED	1,519 (744)	ORIGIN VERTICAL COMPANY LIMITED	1,536 (753)
-	-	Origin One Thonglor Co., Ltd.	871 (427)
計	9,940 (4,870)	計	12,927 (6,334)

3 資産の保有目的の見直しを行った結果、以下の金額を振り替えております。

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
固定資産から販売用不動産	69,212百万円	- 百万円
固定資産から開発用不動産	7,820	-

(四半期連結損益計算書関係)

1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
広告宣伝費	6,760百万円	5,880百万円
従業員給料手当	13,673	14,910
賞与引当金繰入額	6,253	6,484
役員賞与引当金繰入額	249	230
退職給付費用	1,288	1,331
貸倒引当金繰入額	1	1

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は下記のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
現金及び預金勘定	55,006百万円	54,371百万円
預入期間が3ヶ月を超える定期預金	-	26
現金及び現金同等物	55,006	54,344

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年9月30日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2018年4月26日 取締役会	普通株式	6,586	35	2018年3月31日	2018年6月5日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2018年10月29日 取締役会	普通株式	7,015	37.50	2018年9月30日	2018年12月3日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年4月25日 取締役会	普通株式	6,985	37.50	2019年3月31日	2019年6月4日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年10月28日 取締役会	普通株式	7,390	40	2019年9月30日	2019年12月2日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	住宅事業	都市開発 事業	資産運用 事業	仲介・ CRE事業	運営管理 事業	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	105,071	67,957	4,501	16,229	37,551	231,311	46	231,358	-	231,358
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	481	961	-	740	5,619	7,803	0	7,803	7,803	-
計	105,552	68,919	4,501	16,969	43,171	239,114	46	239,161	7,803	231,358
セグメント損益 (事業損益) (注)3	2,547	16,915	2,772	2,882	3,112	28,231	15	28,216	1,993	26,222
企業買収に伴い 発生する無形固 定資産の償却費 (注)3										132
持分法投資損益 (注)3										71
営業利益 (注)3										26,018

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. セグメント損益(事業損益)の調整額 1,993百万円には、セグメント間取引消去734百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用 2,728百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント損益(事業損益) = 営業利益 + 持分法投資損益 + 企業買収に伴い発生する無形固定資産の償却費

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	住宅事業	都市開発 事業	資産運用 事業	仲介・ CRE事業	運営管理 事業	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	64,086	118,744	5,953	18,007	40,178	246,969	45	247,015	-	247,015
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	371	2,297	0	261	5,573	8,505	0	8,505	8,505	-
計	64,457	121,042	5,953	18,269	45,751	255,474	45	255,520	8,505	247,015
セグメント損益 (事業損益) (注)3	5,271	18,846	3,460	3,239	4,134	24,409	59	24,349	2,168	22,181
企業買収に伴い 発生する無形固 定資産の償却費 (注)3										303
持分法投資損益 (注)3										193
営業利益 (注)3										21,684

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. セグメント損益(事業損益)の調整額 2,168百万円には、セグメント間取引消去1,110百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用 3,279百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント損益(事業損益) = 営業利益 + 持分法投資損益 + 企業買収に伴い発生する無形固定資産の償却費

2. 報告セグメントの変更等に関する情報

第1四半期連結会計期間より、「賃貸部門」としていた報告セグメントの名称を「都市開発部門」に変更しております。また、「運営管理部門」に区分しておりました野村不動産ライフ&スポーツ(株)を「都市開発部門」の区分に、野村不動産ウェルネス(株)および野村不動産(株)のシニア事業を「住宅部門」の区分に、「都市開発部門」に区分しておりました野村不動産(株)の賃貸住宅事業を「住宅部門」の区分に変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

3. 報告セグメントごとの利益又は損失の算定方法に関する変更

第1四半期連結会計期間より、海外事業の損益及びM&Aに伴う償却を考慮し、報告セグメントごとの利益又は損失の算定方法を「事業損益」に変更しております。この変更による当第2四半期連結累計期間のセグメント損益(事業損益)に与える影響は軽微であります。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の算定方法に基づき作成したものを開示しております。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
(1) 1株当たり四半期純利益	69円26銭	67円86銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益 (百万円)	13,002	12,468
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益(百万円)	13,002	12,468
普通株式の期中平均株式数(千株)	187,726	183,741
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	68円84銭	67円51銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益調整額 (百万円)	-	-
普通株式増加数(千株)	1,161	954
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	-	-

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

2019年10月28日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議いたしました。

(イ) 配当金の総額.....7,390百万円

(ロ) 1株当たりの金額.....40円

(ハ) 支払請求の効力発生日及び支払開始日.....2019年12月2日

(注) 2019年9月30日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払いを行います。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2019年11月12日

野村不動産ホールディングス株式会社

取締役会 御中

EY新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	金子 秀嗣	印
--------------------	-------	-------	---

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	中桐 徹	印
--------------------	-------	------	---

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	齋木 夏生	印
--------------------	-------	-------	---

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている野村不動産ホールディングス株式会社の2019年4月1日から2020年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（2019年7月1日から2019年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（2019年4月1日から2019年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、野村不動産ホールディングス株式会社及び連結子会社の2019年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. XBR Lデータは四半期レビューの対象には含まれていません。